

第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物

The 5th Red Databook, Threatened wildlife of Japan

カタシャジクモ

Chara globularis var. *globularis*

坂山英俊（神戸大学）

絶滅のおそれのある野生生物の選定・評価検討会 藻類分科会



環境省 編

令和7（2025）年3月



この文献はクリエイティブ・コモンズ 表示-非営利-改変禁止 4.0 国際ライセンスの下に提供されています。

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/deed.ja>

種毎の解説を引用する場合には以下のように記述してください。

引用表示：坂山英俊. 2025. カタシャジクモ. 環境省（編）第5次レッドデータブック：
絶滅のおそれのある日本の野生生物.

Citation: Sakayama, H. 2025. *Chara globularis* var. *globularis*. In: Ministry of the Environment, Japan (ed.),
The 5th Red Databook: Threatened wildlife of Japan.

カタシャジクモ

Chara globularis var. *globularis*

カテゴリー判定結果 絶滅危惧Ⅱ類 (VU) B2ab				
基準 A: —	基準 B: VU	基準 C: —	基準 D: —	基準 E: —
B2. 生育地面積が 2000 km ² 未満であると推定されるほか、次の兆候が見られる。 a) 生育地が過度に分断されているか、10 以下の地点に限定されている。 【地点数】 10 地点以下 b) 出現範囲、生育地面積、生育地の質、生育地点数、成熟個体数のいずれかに継続的な減少が推定・予測される。 【判断理由】 主に防災、水利、漁業、稲作を目的とした湖沼、ため池を生育地としており、営農形態の変化や水害対策によるため池の放棄、埋め立てなど、生育に適した環境が減少している。				
評価分科会： 藻類分科会				

概要

本変種は世界各地に分布し、日本では北海道、本州、四国、九州に分布する。1960 年代以降、生育可能な水環境が減少しており、健全な個体群も減少傾向にあると考えられる。

基礎情報

【形態】

雌雄同株で体長は 60 cm 程度まで、主軸は細く三列性の皮層を持つ。棘細胞は単性で球状。托葉冠は 2 段あり、球状または退化的。輪生枝は 6~13 節からなり、下端部 5~12 節は 2 列性の皮層で覆われている。雌雄両器は輪生枝の節部に生じる。卵胞子は黒色で、楕円体、螺旋縁は 10~13 本。卵胞子膜は細かい顆粒状。

【生活史】

主に初夏から秋にかけて繁茂する。

【生育環境】

主にため池、湖沼に生育する。

生育環境区分：	【陸域_中標高地】湖・ダム湖	【陸域_平地部】ワンド, ため池・池沼, 潟・湖・ダム湖
国土地域区分：	(4) 河川・湿地地域	

【分布域】

世界各地に分布する。日本では北海道、本州、四国、九州に分布する。

現在の生育状況

【分布域の現況】

詳細については不明だが、現在北海道、青森県、栃木県、神奈川県、山梨県、静岡県において、植物体として生育、あるいは散布体として存在していると考えられる。

【生育地の現況】

1960 年代以降、生育可能な水環境が減少しており、健全な個体群も減少傾向にあると考えられる。

【個体数の現況】

詳細については不明。

存続を脅かす要因

水環境の悪化、人為的な管理の減少、近年の農薬の使用などによって消滅している可能性が高い。

要因の区分：	(過去)	水質汚濁, 農薬汚染/化学物質汚染, 管理放棄
	(現在)	水質汚濁, 農薬汚染/化学物質汚染, 管理放棄

特記事項

室内培養など、域外保全が実施されている。

旧レッドリストカテゴリーと掲載名

第4次 2020:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuill. var. <i>globularis</i>	CR+EN
第4次 2019:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuill. var. <i>globularis</i>	CR+EN
第4次 2018:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuill. var. <i>globularis</i>	CR+EN
第4次 2017:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuill. var. <i>globularis</i>	CR+EN
第4次 2015:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuill. var. <i>globularis</i>	CR+EN
第4次:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuill. var. <i>globularis</i>	CR+EN
第3次:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuillier var. <i>globularis</i>	CR+EN
第2次:	カタシャジクモ	<i>Chara globularis</i> Thuillier var. <i>globularis</i>	CR+EN
第1次:	—	—	—

都道府県レッドリスト・レッドデータブック掲載状況（令和4年度末時点）

青森県[要調査野生生物 (D ランク)] 秋田県[準絶滅危惧種 (NT)] 茨城県[絶滅危惧 I 類]
栃木県[絶滅危惧 I 類 (A ランク)] 埼玉県[絶滅危惧 I 類(CE)] 千葉県[最重要・重要保護
生物 (A-B)] 東京都 (本土部) [本土部:情報不足 (DD)] 神奈川県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)]
長野県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)] 広島県[準絶滅危惧 (NT)] 愛媛県[絶滅危惧 I 類(CR+EN)]

保護に係る法令指定状況（令和4年度末時点）

指定なし

参考文献

- 今堀宏三, 1954. 日本産輪藻類総説. 金沢大学. 234pp.
- 今堀宏三・加崎英男, 1977. 輪藻類. 広瀬弘幸・山岸高旺 (編), 日本淡水藻類図鑑, pp. 761-829. 内田老鶴園, 東京.
- Kasaki, H., 1964. The Charophyta from the lakes of Japan. J. Hattori Bot. Lab., 27: 215-314.
- Sakayama, H., Kasai, F., Nozaki, H., Watanabe, M. M., Kawachi, M., Shigyo, M., Nishihira, J., Washitani, I., Krienitz, L. & Ito, M., 2009. Taxonomic reexamination of *Chara globularis* (Charales, Charophyceae) from Japan based on oospore morphology and rbcL gene sequences, and the description of *C. leptospora* sp. nov. J. Phycol., 45: 917-927.
- Wood, R. D., 1965. Monograph of the Characeae. In: R. D. Wood and K. Imahori (eds.), A revision of the Characeae, vol. 1, pp. 1-904. J. Cramer, Weinheim.

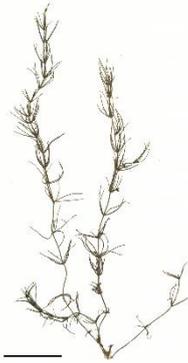
アセスメントサマリー (Assessment summary)

Chara globularis var. *globularis* has been assessed for threatened wildlife of Japan Red List 5th edition. *Chara globularis* var. *globularis* is listed as VU under criteria B2ab.

B2. Area of occupancy estimated to be less than 2,000 km², and estimate indicating at least two of a-c:

- a. Severely fragmented or known to exist at only a single location.
- b. Continuing decline, observed, inferred or projected, in any of the following:
 - (i) extent of occurrence
 - (ii) area of occupancy
 - (iii) area, extent and/or quality of habitat
 - (iv) number of locations or subpopulations
 - (v) number of mature individuals

Habitat types:	【Terrestrial/Freshwater area_Mid-altitude area】 Lake/Dam 【Terrestrial/Freshwater area_Plain】 Inlet, Reservoir/Pond, Lagoon/Lake/Dam
Threat types:	Water pollution, Pesticide/Toxic chemical pollution, Abandonment of management
Law designation status for conservation	—



©坂山英俊 (神戸大学)

執筆者: 坂山英俊 (神戸大学)

Author: Hidetoshi Sakayama

公表年月: 2025 年 3 月